

# 5 平成31年度上田市立西内小学校グランドデザイン

**保護者・地域の願い**

- あいさつがきちんとできる子
- 基礎学力を身につけ、進んで学ぶ子
- 自分らしさを表現できる子
- 安心安全で開かれた学校

**建学の精神（146年の歴史）**

- 一人一人がものの本質を究める教育（研性）
- 一人一人が心と身体を鍛える教育（研性）
- 社会人として守るべき道が学べる教育（彙倫）

**上田市教育支援プラン**

- 学力の定着と向上
- 関係機関と連携し未来を切り拓く力の育成
- 豊かな心と健やかな身体の育成
- すべての子どもの学びを支援
- 地域とともにある学校づくり
- 環境、防災・防犯教育の推進



**自己肯定感を高め、他者を大切にし、故郷を愛する児童の育成**

**学校運営の柱（校長の願い）**

- 今日学校に来て良かった。明日も来たいと誰もが思える学校
- 夢やあこがれを持ち、それに向かってねばり強く努力していく子どもが育つ学校
- 故郷を愛し、誇りが持てる子どもが育つ学校

## 学校教育目標 「知恵」と「ねばり」と「思いやり」

**<本年度の重点目標>**  
友だちの考えや気持ちを大切にしよう  
自分の考えや気持ちを言葉でわかりやすく伝えよう

**最後まで聞く**

**はっきり話す**

**あいさつ・返事**

**にこにこ 笑顔の西内っ子**

- 自分から明るいあいさつをする子ども
- 友だちを大切にできる子ども
- ものの命を大切にできる子ども
- 自然や美しいものに

**しんけん 本気の西内っ子**

- 自分でよく考えて行動する子ども
- すすんで学習する子ども
- あきらめず、最後までやりぬく子ども

**うんどう 元気な西内っ子**

- すすんで運動し
- 体きたえる子ども

**ちからを合わせる西内っ子**

- 助け合い、協力し合う子ども

**特色ある教育活動の3本柱…登り窯活動・金管バンド活動・なかよし班活動**

**<主体的に学び、確かな学力を育む授業改善>**  
\*\*\*\*\* 学力向上プラン \*\*\*\*\*

- 全校研究テーマ「少人数学級における児童の実態のとりえと指導のあり方はどうあったらよいか」
- 教える学習から学ぶ学習（どのように学ぶか）へ子どもの体験から学ぶ授業づくりの工夫**
- 1 複式指導・連学年による合同授業の推進
  - ・西内小のルールブックの活用と修正
  - ・「わかった」「おもしろい」と思える授業
  - ・つきたい力を明確にし、見通しをもてる「ねらい」の設定。
  - ・学習の過程がわかる板書。
  - ・子ども同士で追究が円滑に進む工夫「出る」支援・「出ない」支援
  - ・「振り返り」の時間(10分)を確保
  - 自分の考えが、学習の中ではっきりしたり、変わって来たりしたことを振り返る
  - ・家庭学習の手引きを活用し、主体的に家庭学習に取り組めるようにする。
- 2 授業改善や学力向上を評価する検証方法
  - ・アンケートで『授業で考えや感想などを発表している』の評価を80%以上にする。
  - ・NRT(4月)、CRT(1月)に実施し、考察する。
  - ・ミニテストを複数回実施し、定着度を評価。
- 3 テレビ会議システムを利用した他校との協働学習の実施、ICT機器の活用
- 4 小中連携による6年算数 MIM活用(1,2年)
- 5 教職員の指導力向上のための研修
  - ・一人一公開授業を行い、互いの授業に学び合いながら授業改善を図る。
  - ・NRTの考察をふまえて「学力向上推進計画」を各自作成し発表(5月)、CRTの考察をふまえて取組の成果と課題を発表(2月)。

**教師の姿勢** 子どもが活躍できる授業・行事・活動を工夫する  
子どもの新たな姿・成長を発見できる姿勢を持つ

**<地域に根ざした特色ある活動>**  
**学校から地域へ出る学習**  
地域のひと・もの・ことにふれる  
交流を持ち、自分を表現する場をつくる

- 金管バンド活動
- ・地域のイベントや病院、敬老会等での演奏
- 登り窯活動
- ・粘土作品制作 ・薪割り活動
- 三才山病院での介護体験と交流
- 敬老園訪問交流
- 内村川での川遊び、生き物探し
- 米作り、野菜作り
- 地域の歴史学習  
（「戦争の松」「温泉の歴史」「道祖神」「どんど焼き」等）
- 全校遠足  
（地域を知るオリエンテーリング）
- 地域をよく知る学習（生活科・総合学習の時間）

**<一人一人を大切に、互いの良さを認め合う活動>**  
**子ども全員のことをよく知る**  
**全職員で全児童を見る**

- なかよし班（縦割り班）活動による仲間意識の醸成
- 金管バンド活動で、全員で切磋琢磨し、目標に向けて頑張る。
- 人権教育の充実
  - ・子どもへの見方を固定化しない。子どもが「友だちへの見方を固定化しない」工夫をする。
  - なかよし週間（5月）、なかよし旬間（11月）での取り組み
  - ・なかよし集会、なかよし標語、ポスター
  - 人権の木「ありがとうの木」
  - ・人権教育に関わる授業、講演会
- 毎回の職員会に位置付ける「児童理解」
- いじめ防止委員会の設定（月2回）
- いじめアンケートの実施（学期ごとに実施）
- Q-U（アセス）の実施と考察（年2回）
- ほっとルーム（心の相談室）・にこにこなんでも相談室・相談ポストの活用
- 児童作品の常時掲示
- 合同授業（連学年等）

**「西内の時間」10:20~10:35**

- ・ドリル学習 ・学級や連学年での活動 ・なかよし班活動 ・美化作業 等
- ・全校での活動（体みがきの時間、音楽集会、体育集会、児童集会等）

**子どもたちの活動を支えるために**

- 校内支援体制の確立
- ユニバーサルデザイン化

**学校を核にした地域づくり** **～地域・保護者と連携した開かれた学校づくり～** **大切な命を守るための防災・安全教育の徹底**

参観日、学校開放日各種行事へのご案内等	P T A 活動 (学級 P T A、環境整備作業、資源回収等)	学校自己評価(児童・保護者・教師)行事のアンケート(保護者・地域等)	学校評議員会(年2回)(行事参観・授業参観・懇談等)	学校評価委員会(年1回;兼学校評議員会)
	金管バンド保護者会	HP・学校だより等による情報発信	学校運営委員会(信州型コミュニティスクール)(年2回)	
幼保小中の連携	学校支援ボランティア(スクールガード隊、地域学習ボランティア等)		P D C A サイクルを生かした学校運営	